風

合　○　合乙○老上　○　老　○　四　○　四老乙合乙　○　老　乙

合　○　○　○　○　老　上　工　六　尺　上　上　中　中　四　四

ひと　はだ　れも　ただ　ひとり　たび　に　で

乙　上　四　乙　○　老　上　工　六　尺　上　上　中　中　四　上

て　ひと　はだ　れも　ふる　さと　を　ふり　かえ

上　上　四　四　○　老　上　工　中　上　老　老　四　中　工　尺

る　ちょっぴりさび　しく　て　ふり　かえ　って

五　上　尺　五　○　六　工　五　六　六　六　八　六　七　四　上　上

も　そこには　ただ　かぜが　ふいて　いる

工　尺　中　上　○　老　上　工　六　尺　上　上　中　中　四　四

だけ　ひと　はだ　れも　じん　せい　に　つま　ずい

乙　上　四　乙　○　老　上　工　尺　尺　五　尺　中　中　尺　尺

て　ひと　はだ　れも　ゆめ　やぶ　れ　ふり　かえ

工　○　○　○

る

風

本調子

一、人は誰も　ただ一人旅に出て
人は誰も　ふるさとを振りかえる
ちょっぴり淋しくて　振りかえっても
そこにはただ風が　吹いているだけ
人は誰も　人生につまずいて
人は誰も　夢破れ振りかえる

二、プラタナスの　枯葉舞う冬の道で
プラタナスの　散る音に振りかえる
帰っておいでよと　振りかえっても
そこにはただ風が　吹いているだけ
人は誰も　恋をした切なさに
人は誰も　耐え切れず振りかえる

何かをもとめて　振りかえっても
そこにはただ　風が吹いているだけ
振りかえらず　ただ一人　一歩ずつ
振りかえらず　泣かないで歩くんだ
何かをもとめて　振りかえっても
そこにはただ　風が吹いているだけ
吹いているだけ
吹いているだけ